

演奏に
役立つ

One Point Lesson

TRUMPET

トランペット

長谷川智之 はぜかわ・ともゆき



- ◆出身 北海道函館中部高校、東京藝術大学
- ◆所属 東京フィルハーモニー交響楽団
- ◆趣味 温泉、釣りバカ日誌!! (釣りはやったことがない)
- ◆血液型 A型
- ◆星座 射手座
- ◆読者にひとこと 夢を叶えるために何をすべきか考えよう
- ◆手紙の送り先 BJ 気付

『音楽の3要素』～「リズム」をセンスよく吹いて、カッコよく演奏しよう!!

こんにちは。だいぶ秋らしい季節になってきましたが、頑張って練習していますか？さて、先月までは、トランペットを演奏するための奏法やテクニックといった、いわゆる技術的な話を中心でしたが、今からはそれらを活かして、さらに音楽的に演奏するための話…音型やリズム、音程、アンサンブルでのルール、バランスの取り方などなど…、さらには精神的なことについても取りあげていく予定です。

■リズムで曲の $\frac{1}{3}$ が決まる？

「毎日呼吸のトレーニングやロングトーン、リップスラーとタンギング、低音から高音をピアノシモからフォルティシモまで練習しています！しかし、いざ曲を吹いてみたら…あれっ？何だか全然カッコよくないっ!!」……ということ、ありませんか？やはりどの楽器でも、いくら楽器をコントロールする技術を完璧に身につけたところで、曲を音楽的に演奏できなければ、その技術は宝の持ち腐れになってしまいますよね？

今月は、音楽的に演奏するために必要な要素、『音楽の3要素』といわれている「リズム」、「メロディ」、「ハーモニー」の中から「リズム」について取りあげます。リズムをおろそかにすることは、曲（音楽）の $\frac{1}{3}$ が台無しになるということにもなりますよ！

■メトロノームを使おう

リズム練習をするときには、最初は必ずメトロノームを使いましょう。基本は四分音符でカウントし、難しかったり分かりにくいパッセージは、場合によっては八分音符刻みでカウントしながら練習してくださいね。

■付点のリズム

では早速、このリズムからいきましょう。付点のリズムです【譜例1】。これはトランペットの譜面にはよく出てくるリズムです。ありがちな悪い例ですが、三連符【悪い例1】のようになってしまわないように気をつ

けましょう。そう吹くとカッコ悪いですよ～。

「ターンタ、ターンタ」と活字にすると4文字ですよ？付点音符は「ターン」、十六分音符は「タ」と考えて、「付点音符：十六分音符＝3：1」になるように、徹底して練習してください（最初は十六分音符で刻んでみるとよいでしょう）。

あと、これもよくありがちですが、十六分音符は付点音符に比べて聞こえにくいので、短い音符に息をしっかりと入れ、ハッキリと吹くようにしましょう。そのくらいの方が、遠くではちょうどよく聞こえます。付点のリズムは、トランペット吹きにとってセンスが問われるリズムだと思ってください。

■八分音符と十六分音符

このリズムもよく出てきますね。これは昔のトランペットの特徴で、信号ラッパの役割を担っていた時代の名残りのリズムです。古典の作品でティンパニとセットで刻むパッセージで出てきます【譜例2】。これも付点のリズム同様に、十六分音符が聞こえにくくなりやすいので、音の粒がハッキリするように吹きましょう。八分音符の発音は「タン」です。

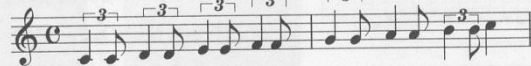
【譜例1】



↓演奏するときは



【悪い例1】



【譜例2】



タンタ タタンタ

【悪い例2】



タ ッ タ タ タ ッ タ タ ター タ タ ター タ

【悪い例2】のように、八分音符より十六分音符が長く聞こえたり、「ダーダダ」みたいにダラシなくならないように気をつけましょう。ファンファーレを演奏するようなつもりで、吹いてみましょう。

■タイの後は注意

次は【譜例3A】です。このリズムは、2拍目のタイの後の十六分音符が遅れがちになりやすいので気をつけましょう。演奏する時は2拍目の頭のタイでつながった音を早めに切り上げ（休符にしてもホールでは残響でつながって聞こえます）、2拍目の頭のビートを感ずると遅れずに吹けるでしょう。また、今年の「コンクール課題曲I」にもあったパッセージ、【譜例3B】も同様です。2拍目の三連符が遅れて【悪い例3B】のようにならないように気をつけましょう。

■録音をしよう

自分では「カッコよく吹いて決まっている」と思っている、録音をして聴いてみると……、「ガン!! こんなはずではなかったのに…」ということもあると思います。日々の練習をこまめに録音して、自分のクセを客観的に知ることも大事です。

【譜例3A】

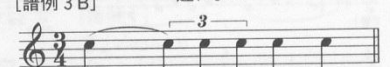


↓演奏するときは



【譜例3B】

遅れない



↓演奏するときは



【悪い例3B】

